

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

市町名	益子町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	わが町HERO応援事業	総事業費	400,000	586,171	600,000	600,000	600,000	2,786,171
		うち市町支出額	400,000	586,171	600,000	600,000	600,000	2,786,171
		うち県交付金	0	285,442	300,000	300,000		885,442
2	農と食のまちづくり事業	総事業費	0	4,579,410	2,500,000	2,500,000	2,500,000	12,079,410
		うち市町支出額	0	4,579,410	2,500,000	2,500,000	2,500,000	12,079,410
		うち県交付金	0	2,282,210	717,790	0	0	3,000,000
3	新たな結の創出ムーブメントin益子・濱田窯 茅葺きと古民家私たちの暮らしのこれからを考える	総事業費	0	535,932	200,000	200,000	200,000	1,135,932
		うち市町支出額	0	267,966	100,000	100,000	0	467,966
		うち県交付金	0	133,983	50,000	50,000	0	233,983
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	400,000	5,701,513	3,300,000	3,300,000	3,300,000	16,001,513
		うち市町支出額	400,000	5,433,547	3,200,000	3,200,000	3,100,000	15,333,547
		うち県交付金	0	2,701,635	1,067,790	350,000	0	4,119,425

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	わが町HERO応援事業
事業主体の名称	益子町スポーツ協会
代表者の名称	会長 広田 茂十郎
事業主体の所在	益子町大字益子3667-3
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 益子町内における町民の体位向上を図り明朗で健康な精神を養い併せてスポーツ団体の育成を図ることを目的とする</p> <p>・設立年月日: 昭和47年4月25日</p> <p>・構成員等: 地元町民等及び事務局(益子町生涯学習課職員)29名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町は、益子焼をはじめ観光の町として多くの地域資源を有する一方、高齢化や人口減少の問題を抱えており、若い世代の町外の転出が抑えられず、地域活力やコミュニティの維持が年々難しくなっている。</p> <p>そのような現状の中、本町出身の西谷優希選手が栃木SCに加入していることに伴い、サッカーを通じて地域スポーツの振興を図るため、例年「地域支援パートナーシップ協定」を締結している。</p> <p>地元出身のHERO(リーガー)が地元のプロサッカーチームである栃木SCに所属している今、子供たち及び町民の郷土愛の醸成を図り、人口の流出を抑えて地域コミュニティを維持していくために、スポーツを起点とした振興施策を講じる必要がある。</p>
事業目的	<p>スポーツを起点としたイベントを行い、観光客誘致と関係人口の創出を図る。</p> <p>地元出身のHEROと共に事業を行うことにより、子どもたちに将来の夢を持たせ、スポーツへの関心を高めるとともに郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <p><栃木SC益子町民デーの開催></p> <p>開催日: 7月30日(土)午後6時キックオフ VS徳島ヴォルティス</p> <p>開催場所: 栃木県カンセキスタジアム(栃木県総合運動公園園地内)</p> <p>内容: 7月30日(土) 栃木SC VS 徳島ヴォルティス戦を益子町民デーとし、会場での来場者記念品配布(栃木SCマフラータオル等)を通じた益子町のPR及び、町民や町サッカークラブの子供たちの無料招待を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料チケット対象 益子町在住300名(小中高生100名、一般200名) ・バスツアーの実施 子供たち及び町民の方を送迎 ・来場者記念品配布 イベントエリアにて記念品配布を実施 ・町のPRパンフレットの配布及びノベルティの配布 ・ステージイベント マスコットキャラクター「マシコット」によるPR ・エスコートキッズ 益子町サッカークラブによる選手入場時のエスコート等 <p>【令和5年度以降】</p> <p>「地域支援パートナーシップ協定」に基づき、現在の規模を維持しながら事業の継続をしていく。</p> <p>【1-d】参加・交流型</p> <p>町PR/パンフレットの配布や益子焼のノベルティの配布、マシコットのステージイベントによる地域のPRを行うことで、来場者に益子町への興味関心を高め、関係人口の創出につなげる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】</p> <p>健康でたくましい心身を育てる体制づくり</p> <p>【KPI】</p> <p>体育施設利用者数(R1)124,180人→(R7)前年度増</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	栃木SC益子町民デーの開催	栃木SC益子町民デーの開催	栃木SC益子町民デーの開催		栃木SC益子町民デーの開催
事業費	586,171	600,000	600,000	1,786,171	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	586,171	600,000	600,000	1,786,171	600,000
うち県交付金	285,442	300,000	300,000	885,442	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 スポーツ振興係
担当者名	鈴木 智之
電話	0285-70-2727
連絡先 FAX	0285-72-3453
E-mail	svougai@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	わが町HERO応援事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	586,171	
計	586,171	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	210,000	210,000	105,000	0	・来場者記念品代 (栃木SCマフラータオル200本) ・天人疾風の会出演料 (太鼓演奏)
消耗品費	219,424	219,424	109,712	0	・のぼり旗 20枚 ・スタッフ用Tシャツ 12枚 ・ポスター製作費 600枚 ・バスツアー用フラッグ代等 ・記念品配布用袋代 200枚
食糧費	14,737	14,737	0	0	・スタッフ夕食代、飲み物代
手数料	550	550	0	0	・振込手数料
使用料	55,000	55,000	27,500	0	・テント 2張 ・三方幕 2枚 ・机 10台 ・椅子 16脚 ・錘 22個 ・カラーコーン 4個 ・コーン用バー 2本 ・パネル
賃借料	86,460	86,460	43,230	0	・大型バス1台
計	586,171	586,171	285,442	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	農と食のまちづくり事業
事業主体の名称	ましこ農と食の研究会
代表者の名称	会長 廣田 茂十郎
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域農業・食を支えていくための人づくり、また育成した人々を活かす仕組みづくりを進め成長産業としての農業の育成と食のまちづくりを実現する ・設立年月日:令和3年5月10日 ・構成員等:農業委員会、JA、商工会
当該事業に係る地域の現状と課題	益子町の農業では担い手不足や高齢化など長年の課題を抱えている。また飲食業においては、コロナ禍による観光客の減少により所得の減少など大きな打撃を受けている。益子町の強みとなりうるこれら2つの産業が成長産業として発展するためには新たな人材の確保、育成や販路拡大、開拓に向けて、関係者が連携をとり戦略的に展開していくことが必要となる。
事業目的	農業、飲食業、移住定住希望者など多様な人材の交流の場を創出することにより人材の確保育成を図るとともに、農産物などの地域資源の磨き上げを行う。それらの人材や地域資源を活用しビジネスへと展開させ、所得を向上させることで持続可能な農と食のまちづくりの実現につなげる。
事業概要	<p>【令和4年度】 農業体験教室「ましこ農の学校」を開催し、町内町外の多様な人材の交流を行うことにより、新規就農者や移住定住者の確保につなげた。 また、「ましこ食の学校」も開催し、農業者、飲食店、住民が一体となり町内農産物のPRを兼ねたパンフレットの配布、所得の向上にもつながるよう、加工品開発セミナー等を実施した。</p> <p>【令和5年度】 「ましこ食の学校」も継続し、引き続き町内農作物のPR用のパンフレットを配布しながら、加工品開発セミナーを通して郷土料理の伝承を目的としたレシピ化をする。</p> <p>【令和6年度】 「ましこ食の学校」も継続して実施し、町内農産物や加工品開発セミナーで開発した商品の販路拡大を図り、今後も継続していくための仕組みづくりをする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】 地域の特性に合った農産物の生産体制の整備 【KPI】新規就農者数 28人(令和元年度)→53人(令和7年度) 【目標】 農と食のまちづくりの推進 【KPI】「食の学校」(仮)で新たに開発された商品の数(累計) 未実施→15(令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	4年度	5年度	6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・農業体験教室の実施 ・農産物PR、及び加工品開発セミナーの実施	・農産物PR、及び加工品開発セミナーの実施 ・地域料理の伝承事業の実施	・農産物PR、及び加工品開発セミナーの実施 ・地域料理の伝承事業の実施		・農産物PR、及び加工品開発セミナーの実施 ・地域料理の伝承事業の実施
事業費	4,579,410	2,500,000	2,500,000	9,579,410	2,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,579,410	2,500,000	2,500,000	9,579,410	2,500,000
うち県交付金	2,282,210	717,790	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課農業振興係
担当者名	柳 美由紀
電話	0285-72-8853
FAX	0285-70-1181
E-mail	nousei@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	農と食のまちづくり事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
町支出金 (農と食のプロジェクト交付金)	4,579,410	
計	4,579,410	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	924,000	924,000	462,000	0	農の学校、食の学校の講師代
委託費	2,681,000	2,681,000	1,340,500	0	町内農産物PRのためのパンフレット等作成委託費等
需用費	894,420	894,420	447,210	0	農の学校の生産資材代 食の学校の消耗品代、印刷費
賃借料	35,000	35,000	17,500	0	農の学校の農地、拠点の賃借料
役務費	30,000	30,000	15,000	0	保険代
手数料	14,080	14,080	0	0	振込手数料
通信運搬費	910	910	0	0	
				0	
				0	
計	4,579,410	4,579,410	2,282,210	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(新たな結の創出ムーヴメントin益子・濱田窯 茅葺きと古民家私たちの暮らしのこれからを考える)事業
事業主体の名称	カモン長屋門プロジェクトチーム
代表者の名称	代表 濱田友緒
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町益子3387
事業主体の概要	・団体の目的:陶芸家濱田庄司が民藝運動の拠点とした、茅葺き屋根の古民家を再生するプロジェクトで学んだ手仕事や、地域の文化、風土を活かした暮らしの大切さを町内外に広く伝えることを目的とする。 ・設立年月日:令和4年4月1日 ・構成員等:地域住民、筑波大学生など10名
当該事業に係る地域の現状と課題	令和3年度に道祖土地区に現存する茅葺き屋根の古民家を再生する取り組みを実施したが、十分な活用がされていないため、単なる古い建物の修復にとどまらないよう、活用方法について検討し、対策を講じる必要がある。
事業目的	レクチャーやトークセッション、ワークショップなどの各種イベントを開催し、古民家再生の取り組みを通じて学んだことを町内外に広く伝える。また、茅葺き屋根を通じたネットワーク(新たな結)を作り、引き続き地域文化を発信する。
事業概要	【令和4年度】 古民家の構造を学ぶレクチャーや建築の専門家を招いてのトークセッション、茅葺きに実際に触れて作品作りを行うワークショップを開催した。また、実際の茅葺き屋根の維持を行うボランティアを募りネットワークづくりを行った。 <トークセッション> 日時:9月18日(日)14:00~15:30 内容:「民藝と暮らしと茅葺き」 濱田庄司の民芸運動にとって茅葺きは何を意味していたのか。「民藝」を通して見る茅葺きについて茅葺き建築研究の第一人者による講演とトークセッションを行った。 参加者:50名 <スライドトーク&ワークショップ> 日時:11月12日(土)10:00~15:00 内容:「茅葺きの可能性を探る~茅と藝」 茅葺き職人の技について現役の茅葺き職人のスライドトークとワークショップを行った。 参加者:スライドトーク40名、ワークショップ20名 <トークセッション> 日時:11月19日(土)14:00~15:30 内容:「暮らしの場を自然に近づける」 陽光が降りそそぎ、物質がめぐる中に、人はどう自然と近しく身を置けるのかについて建築家とランドスケープデザイナーの対話を行った。 参加者17名 <レクチャー&ワークショップ> 日時:3月18日(土)13:30~16:00、19日(日)10:00~16:00 内容:「古民家のみかた、しらべかた、つくりかた」 古民家再生と木組の家づくりを実践する方のレクチャーとワークショップを行った。 <ワークショップ> 日時:8月7日(日)、8月21日(日)、8月28日(日)、9月4日(日)、9月11日(日)、9月23日(金)、12月19日(月) 9:00~15:00 参加者:各回10~15名 内容:茅の収穫など茅葺き屋根保存のためのワークショップを行った。 【令和5年度以降】 ネットワークを活かして、古民家建築そのものや周辺環境を活かした勉強会、マーケット、ワークショップなど様々なイベントを行う。 【関係人口】I-d(参加・交流型) レクチャーやトークセッションのほか、ワークショップの開催や茅葺き屋根の維持ボランティアを募集し活動していただくことで、参加・交流型の関係人口の創出・拡大を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 291万人(令和元年度)→340万人(令和7年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	イベントの実施(レクチャー、トークセッション、ワークショップ)	イベントの実施(レクチャー、トークセッション、ワークショップ)	イベントの実施(レクチャー、トークセッション、ワークショップ)		イベントの実施(レクチャー、トークセッション、ワークショップ)
事業費	535,932	200,000	200,000	935,932	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	267,966	100,000	100,000	467,966	0
うち県交付金	133,983	50,000	50,000	233,983	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	267,966	100,000	100,000	467,966	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	高田 展史
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(新たな結の創出ムーヴメントin益子・濱田窯 茅葺きと古民家私たちの暮らしのこれからを考える)事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
町支出金(おもてなし補助金)	267,966	
事業収入	205,000	勉強会、ワークショップ等参加費
自己負担額	62,966	
計	535,932	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	273,000	136,500	68,250	136,500	講師謝礼
旅費・交通費	70,932	35,466	17,733	35,466	講師交通費
備品購入費	35,800	17,900	8,950	17,900	スクリーン
宿泊費	41,180	20,590	10,295	20,590	講師宿泊費
食糧費	19,200	9,600	4,800	9,600	講師弁当代、お茶代
印刷製本費	45,820	22,910	11,455	22,910	チラシ10,000部 詳細チラシ500部
使用料	50,000	25,000	12,500	25,000	会場使用料
				0	
				0	
				0	
計	535,932	267,966	133,983	267,966	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合